

## 平成31年度入学式 学長式辞（平成31年4月3日）

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎申し上げます。ご父母の皆さまにおかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆様におかれましては、ご多忙の中、本学の入学式に多数ご臨席賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本日は新入生の皆さんをお迎えするにあたり、本学の教育に対する考え方や取り組みについてお話ししたいと思います。

本学は、「愛情教育」を建学の精神として、昭和62年に創設されました。この「愛情教育」の精神は、教職員が「一人ひとりの学生をありのままにみつめ、一人ひとりの夢とその歩みを支援し、自立を促す教育」を行い、豊かな人間性を育てていくことを意味しています。本学は、この考え方にに基づき、基礎的な教養や専門分野の知識、技能の修得を目指しています。現代社会は、AIの普及やグローバル社会の進展に見られるように、大きくかつ急速に変化しています。そうした中で、本学は、皆さんがどのような仕事についても、この先長い将来にわたって社会人として活躍するために必要な基礎的な能力、すなわち本学でいうところの「駿大社会人基礎力」を修得し、地域社会で中核的役割を担うことのできる人材を育てることを教育の重要な目的としています。

この目的を実現するために、教育面では、ゼミといわれる演習授業を概ね20名以内の少人数で構成し、教員がきめ細かい指導を行っています。講義においても、教員と学生のコミュニケーションが図れるよう教室を整備し、教育方法の工夫が行われています。また、職業に就き、仕事を継続できる力を身に付けるための体系的なキャリア教育のプログラムも用意されております。加えて、「地域」を学びとその実践の場と位置付け、「地域インターンシップ」や「まちで元気にプロジェクト」等の授業を通じて、広く社会に目を向ける機会を設けています。さらに、世界各地に数多くの留学・語学研修の機会を用意し、少ない負担で海外での学びや生活を経験することができるようになっています。

なお、「駿大社会人基礎力」を鍛える場は授業の中だけではありません。本学に集まる、様々な地方や国から来た学生たちと付き合うことも貴重な機会です。異なる文化、考え方、生活習慣をもつ人々の意見を尊重し、多様性を認めながら共通点を探り出し、課題の解決策を探ることを学んでください。本を読む習慣を身に付けることも大切です。読書は、視野を広げ、自分の頭でものごとを考え、整理する力を養いますが、これこそは社会で活躍するためにいつの時代でも求められる基礎的な力となります。本学自慢のメディアセンターをおおいに活用してください。

こうした大学での学びの内容は、高校とは随分と異なり、戸惑う人もいるかと思います。大学での授業の受け方、勉強の仕方などに自信が持てない人はクラス担任にあたるゼミの教員に相談してください。また、本学の第二講義棟1階にある「学習相談連携デスク」も訪

ねてみてください。大学生活に慣れない1年次生には、職員もクラスアドバイザーとして、学生の皆さんの状況にもとづいて、さまざまな部署と連携しながら、連絡をとったり、アドバイスをしたりと学業が滞りなく続けられるように支援しています。何かあったら決して一人では悩まずに、本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談をしてみてください。

駿河台大学教職員一同は、皆さん一人ひとりの夢と歩みを尊重し、その可能性を最大限に発揮できるよう支援をし、教育を行います。新入生の皆さんが大学生活を存分に楽しみ、四年間の学生生活を通じて心豊かに成長されることを願って、ご入学のお祝いの言葉と致します。

本日は、誠におめでとうございます。

平成31年4月3日  
駿河台大学 学長 大森 一宏